

1. 事業期間

2018年 6月1日～2019年5月31日

2. 基本方針

くまもと未来創造基金は、社会の課題解決や地域の活性化などの公益活動を支援したい人々と、公益活動を推進する団体等の双方の想いを具現し、資源の仲介を行い、社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みを構築することにより、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的として活動します。そのため、熊本県内で活動している市民活動に関わる課題や問題を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換ができる場を提供するとともに、活動団体のネットワークを構築し、市民活動をサポートします。社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みの構築、活動団体に仲介・提供するために必要な資源の確保を行います。

また、各地で活動している市民活動団体をはじめ企業・行政・県民等に対して、情報の発信や活動・組織運営に関するノウハウなどの提供を行い、基金への理解と支援者の確保のための活動を行います。

2018年度は、引き続き熊本地震支援活動を行うとともに、県内・全国に向けて活動の趣旨や内容についての普及啓発活動を行い、公益を支える仕組みの構築基金の創設・そのために必要な資源の確保を行います。

また同時に関係機関と連携して、ファンドレイジング勉強会等学びの場を提供し、団体の課題解決を全面的にバックアップする体制づくりに努めます。さらに、相談・コンサルティング機能を整え、サポート強化を図ります。

特に重点取り組みを以下の3点におきます。

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保
- ② 熊本地震支援活動団体のニーズ・課題調査、サポート体制づくり
- ③ 学びと交流事業の確立

3. 事業

- (1) 公益活動を行う団体に仲介・提供するために、公益活動に必要な資金等の資源を募り、確保する事業

●事業名：1592（ひごくに）チャレンジ寄付募集

【事業概要】熊本地震から2年。熊本でたくさんの方が、被災者支援や復興支援活動を展開してきました。持続可能な活動にしていくために、引き続き、活動をサポートしていくために、活動に賛同いただける方を募り、熊本元気応援「1592チャレンジ寄付」として登録・ご寄付をお願いしていきます。賛同者1592人

【内容】一口応援団メニュー（様々な寄付メニューを紹介し、寄付者の思いを大事にした寄付）

【賛同者】1,592人（メッセージを同時にお願いしてHP上で公開一賛同者）

【目標額】100万（2019年5月まで（構築中））

●事業名：財団アワード

【事業概要】熊本地震後、活発に活動始めた市民活動や災害支援活動から高まった寄付に関する県民の意識をさらに高め、今後迎える課題社会の課題解決に向けて、県民一人ひとりが自分たちで解決する仕組み作りやお金の使い方自分たちの未来を作っていくことに気づいてもらうこと、サポートをする団体として設立した「くまもと未来創造基金」について広く知ってもらうことで、応援する賛同者を募り、共に未来を作る仲間を増やすことを目的として開催します。

【内容】

【12月は寄付月間】この一年に感謝を込めてみんなで未来を創ろう！

おもやいアワード2018

日時：12月16日（日）13:30～17:50

場所：桜の馬場 城彩苑 多目的交流施設

参加者：51名



【流れ】

13:30開会

開会挨拶

13:35（第1部）

1. やおきん熊本復興ゆめ応援基金—採択団体活動報告（30分）

1団体5分×5団体・株式会社やおきん様より感想

2. 「オルビスくまもと未来基金」2018年活動報告（35分）

1団体5分×6団体・オルビス株式会社様より感想

3. オルビスくまもと未来基金2019年受託団体贈呈式（20分）

①「オルビスくまもと未来基金」 紹介

②オルビス株式会社様

③助成金贈呈

④採択団体活動紹介（8団体）

15:00休憩（10分）

15:10（第2部）

▼講演 「寄付とは未来を信じる力」

日本ファンディング協会 代表理事 鶴尾雅隆氏（40分）

15:50「みんなで未来を創ろう！」

1592チャレンジ基金 について（10分）

～記念撮影～

16:00 交流会

17:45 閉会の挨拶

17:50 終了



(2) 公益活動を行う団体に対し、その経営に必要な資源を助成・提供する事業

●事業名：熊本地震災害支援活動助成金「オルビスくまもと未来基金」

【概要】熊本地震災害支援活動団体に活動支援金として助成

【実施期間】第3次：6～9月 次年度事業提案

株式会社オルビス・株式会社LIFULL Social Fundingとの協議

10月20日～11月20日募集（助成金募集要項に基づく）

11月審査（財団にて設置した第三者機関で審査）

11月（ヒアリング・面接）

12月発表 贈呈式（2019年1月～2019年12月の活動分）

【対象】熊本で活動している支援活動団体（主体は熊本に事務所がある団体）

くまもと未来創造基金で活動サポートを行う。

【収入】寄付金による基金目標450万

【採択団体】 8団体（別紙参照）



●事業名：奨学金制度構築に向けた準備会

【概要】 経済的理由で就学困難高校生に対する奨学金給付制度構築に向けて、検討を行います。

(3) 公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業

●事業：基盤強化事業

【事業概要】助成金採択団体を中心に、持続可能な活動を行うために必要な団体の課題把握や戦略計画立て自立した運営ができるようセミナーや相談会を行います。また日本ファンドレイジング協会や認定・准認定ファンドレイザーと連携して、ファンドレイジングに関する体系的学び・ファンドレイジング・資金調達力の向上を目的に勉強会を開催します。また同時に個別相談会を開催します。

【目標】

- ① 学びの場の提供
- ② 団体ごとの課題把握・戦略的計画を立てる。

《実施内容》

1. 「オルビスくまもと未来基金」基盤強化セミナー

【講師】株式会社 LIFULL Social Funding

ファンドレイズ事業部（JAPANGIVING）

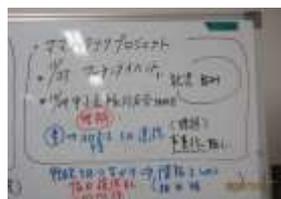
コンサルティング部 コンサルタント 間辺 初夏氏

時期	会場	内容	備考
第1回 4月8日 13:00～ 17:00	熊本市男女共同参画センター はあもにい	基盤強化セミナー① 「自団体の未来を描く」 ・ビジョン・ミッションを明確化 ・自団体の課題や現状を把握	11人 フォロ ー2団 体

		<ul style="list-style-type: none"> ・団体の中期的な（3～5年後）姿を描く ・組織の基盤強化のための改善点把握 ・組織の棚卸 	
第2回 6月2日 13:30 ～17:00	熊本市総合福祉センター	基盤強化セミナー② <ul style="list-style-type: none"> ・ファンドレイジングとは ・戦略的ファンドレイジング ・組織の潜在力分析 ・寄付者分析 ・周りを巻き込もう！ 	4団体 （フォロワー2団体） 一般参加2名
中間報告 7月21日 13:30～ 17:00	熊本県母子父子保護ホームしらゆり研修室	1. 採択団体 活動中間報告（活動内容・成果・課題・今後の計画） 2. オルビス社からのアドバイス 3. 交流会	
第3回 9月9日 13:30 ～17:00	熊本県母子父子保護ホームしらゆり研修室	基盤強化セミナー③ <ul style="list-style-type: none"> ・支援者を巻き込むためには ・伝える⇒伝わるメッセージをつくる ・支援者・協力者に向けた提案メッセージやツールをつくる ・人の心を動かすプレゼンの実践を体験する 	参加団体4 フォロワー2団体 一般参加2人
第4回 11月4日 13:30 ～17:00	熊本市シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館) 第7会議室	交流会 <ol style="list-style-type: none"> 1. 団体活動報告 2. 各団体次年度以降の組織運営について 3. 12月「財団アワード」最終報告発表について 4. 来年度年募集について 5. 交流会 	11人
最終報告	城彩苑 多目的交流施設	「おもやいアワード」の中で報告	

【成果】

- ・4回連続セミナーによって、各団体の活動の計画性や持続性、資金調達力を高めることができた。
- ・セミナーを通して参加団体同士交流ができ、高め合い、団体同士の連携協力につながった



2. 「やおきん熊本ゆめ応援基金」

・株式会社「やおきん」様のご協力により、寄付つき商品「うまい棒」の寄付金による「熊本復興夢応援基金」を創設。

熊本復興のために、熊本県民自ら「熊本を元気にする夢プロジェクト」を考え実行してもらうことで、少しでも希望をもって生活を取り戻し、実現するきっかけを作っていただきたいと企画

・募集（23 団体応募）・外部評価委員会での審査を経て、13 団体採択。

2017 年 8 月贈呈式

活動期間 2017 年 9 月～2018 年 8 月、益城町・西原村・阿蘇市・熊本市などを中心に、自治会・小学校 PTA. 個人、集落、子育て中ママさんグループ、地域のパン屋さん等多彩なグループ団体が活動

・採択団体：木山仮設住宅西自治会・おはなし会ポプリ・しあわせの輪・井芹大吾・がんばろう風当・南阿蘇余生馬養生牧場オープンセサミ・けやき工房・熊本復興音楽 100 人委員会・南阿蘇に気球を飛ばそうプロジェクト・ハロウィンマルシェ実行委員会・広安西小学校吹奏楽部講演会・さをり会・ランチ・ジェニトリーオペラ



【中間報告・最終報告会開催】

報告会目的：基金より、被災者自身の復興の夢が実現できたか報告しあうとともに、採択団体同士交流し合いつながることで、今後も熊本の元気をとり戻す力となっていくこと。

日時 2018 年 1 月 17 日（土）午後 13:30～17:00（台風のため延期）

場所 益城町保健福祉センター研修室 1 （20 名出席）

- 内容
1. 開会 一般財団法人くまもと未来創造基金
 2. 採択団体活動報告発表 （各団体 10 分×13 団体）
 3. 交流会
 4. 閉会



●事業：ファンドレイジング勉強会・交流サロン

【事業概要】日本ファンドレイジング協会や認定・准認定ファンドレイザーと連携して、ファンドレイジングに関する体系的学び・ファンドレイジング・資金調達力の向上を目的に勉強会を開催します。また同時に個別相談会や交流サロンを開催し、ネットワークづくりやマッチングの場、ニーズや課題の把握の場とします。

【目標】①学びの場の提供 ②「くまもと未来基金」賛同者を集める（③資金調達の専門知識を持った熊本のファンドレイザーを増やす。 ④地域の様々な主体との交流サロンを開催します。

① ファンドレイジング勉強会

時期	会場	内容	備考
9月30日	熊本市国際交流会館	～町を元気にする仕組みづくり～ 地域課題解決とファンドレイジング	台風為中止
10月8日 14:00～ 16:00	熊本市総合福祉センター	「ワクワクする話し合いをデザインしよう」 1. ファシリテーションとは ・グループ・市民活動・地域など多様な人で行う話し合いの効果的進め方 ・参加者全員が自分事として発言し、進めるスムーズな話し合いのコツ ・時間を有効に活かした上手な会議の進め方 ・みんなで納得して決める話し合いのコツ 2. ファシリテーショングラフィック実践 ・「話し合いの見える化」「議論を描く技術」	22人
2月9日 18:00～ 21:00	城彩苑	スポーツ×チャリティ ①話題提供・熊本の事例 一般社団法人 Arts and Sports for Everyone 代表 吉田祐一氏 ・国内外の事例紹介（最新情報）日本ファンドレイジング協会 三島 理恵氏 ②交流会（飲食物の寄付体験）	25人

②交流サロン

時期	会場	内容	備考
11月3日 10:00～ 12:00	熊本市男女共同参画センター はあもにい	「SDGを学ぶ（基礎編）」 1. SDGSを読み解く 2. 取り組み事例から学ぶ 3. 私はどう取り組む?(ワークショップ)	18人



【事業】 活動団体のニーズ・課題調査 サポート体制構築

【目的】 支援活動団体情報を集積することにより、ニーズの収集と活動団体の現状の把握を行い、助成金事業やサポート事業へ反映させていく他、行政や企業、全国の支援者への企画や連携提案の基盤づくりを行う。

【調査項目】 活動内容 活動場所 連携先 活動課題

【実施時期】 調査 8月～10月 整理・まとめ

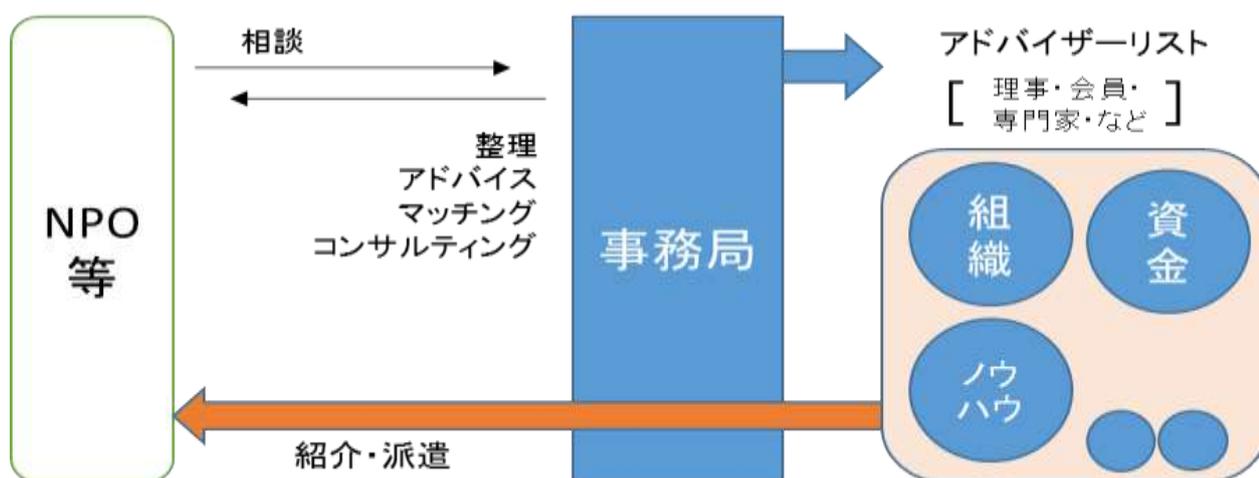
【実施方法】 郵送やヒアリングによる調査

調査データや相談データを整理する。

アドバイザーリストの整理・作成

相談・マッチングの仕組み作り

相談窓口の整備・相談会の実施 専門家紹介・派遣の仕組み作り



(5) 公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

【事業】 情報発信及び広報・普及啓発

【内容】 市民活動の一番にニーズである助成金情報や企業・行政からの情報等様々な情報を活動市民団体に提供するとともに、支援したい市民・県民・企業等に活動団体の情報や社会的課題について発信していきます。

【対象者】 市民活動団体・個人・企業・行政等

【配信】 HP

メルマガ

FB等 SNS

4. 理事会の開催

年5回開催 (6月、8月、11月、2月、5月)

6月—今年度事業計画・予算状況

8月—進捗状況

11月—進捗状況・次年度事業計画

2月一次年度計画（最終）

5月—今年度事業報告・決算状況 次年度計画・予算

5. 評議員会開催

・2019年9月

【ご寄付】

全国からいただきました。皆様のご支援に感謝申し上げますと共に引き続き、活動へのご理解とご協力・ご支援いただけますよう力を尽くしてまいります。

2018年度（ご寄付いただいた方々）

・株式会社 TRESHIGH 様	296,887 円
・ミキュウジ様	40,196 円
・ブリッジクマモト様	500,000 円
・株式会社オルビス様	5,199,244 円

総額 6,036,327 円